

平成 26 年 度

事 業 報 告 書



一般財団法人 石川県予防医学協会

目 次

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要 (第1章総則抜粋)

はじめに	1	6 環境検査	13
1 平成26年度事業実施概要	3	(1) 食品検査	14
2 職域保健	5	(2) 水質検査	15
(1) 総合健康診断・定期健康診断	5	(3) 簡易専用水道検査	15
(2) がん検診	6	(4) 作業環境測定	16
(3) 特殊健康診断	6	(5) 計量証明事業	16
(4) 人間ドック	6	7 総務事項	17
(5) 健康支援	6	(1) 理事会開催状況	17
3 地域保健	7	(2) 評議員会開催状況	17
(1) 健康診査	7	8 啓発活動報告	17
(2) がん検診	7	9 学会発表状況	17
4 学校保健	8	10 会議・研修実施状況	18
(1) 尿検査	8		
(2) 心臓検診	8		
(3) 貧血検査	9		
(4) 寄生虫検査	9		
5 医学検査	12		

一般財団法人石川県予防医学協会定款概要（第1章総則抜粋）

《名称》

一般財団法人 石川県予防医学協会

《設立》

1952年（昭和27年）10月 8日

《一般財団法人移行》

2013年（平成25年） 4月 1日

《住所》

金沢市神野町東115番地

《目的》

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の発展に寄与することを目的とします。

《事業》

当協会は、前項の目的を達成するため、次の事業を行います。

- (1) 予防医学に関する各種健康診断、診療及び検査事業
- (2) 公衆衛生に関する普及啓発及び助成事業
- (3) 公衆衛生に関する調査研究事業
- (4) 生活環境の保全に関する必要な調査研究事業
- (5) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

平成 26 年度 事業報告書

一般財団法人 石川県予防医学協会
理事長 松崎 充意

《はじめに》

今年 3 月 14 日、県民の悲願でありました北陸新幹線が開業し早 3 か月が経ちました。予想通り、我が県の観光地や金沢駅周辺は大変な活気に満ち溢れています。ただ、同時に不十分な点も浮き彫りとなっており、来年以降もこの盛況を維持・向上するために、観光に来られる方の視点に立ったより良いサービスの提供やインフラの整備を官民一丸となって推進していかなければならないと思います。これは協会の事業にとっても同様で、いつの時代にもお客様から選ばれるのは、お客様満足度が高いサービスであり、商品であるという原理原則を、予防医学に携わる専門機関としてしっかりと把握し、スピード感を持って取り組むことの重要性を改めて認識いたしました。

そのような中、平成 26 年度は当協会にとって新たな一步を踏み出した年でもありました。それは 25 年度をもって 40 年余り実施しておりました外部医療機関の臨床検査事業及び先天性代謝異常症等検査を終了し、その部門の経営資源を協会の基幹事業である健康診断・人間ドック事業の拡充、環境検査事業の体制強化のために集約いたしました。当初の計画では、臨床検査事業の外部医療機関分の受託終了により、一時的な減収減益を見込んでおりましたが、健闘した決算となりました。要因として、健康診断・人間ドック・クリニック部門の事業においては、先生方、そして関係スタッフの連携強化により、受診者数・収益ともに計画を上回る成果を残すことができました。環境検査事業についても、体制強化に向けて一歩ずつではありますが前進することができたと思っております。このような成果を残せたのは、全職員一人ひとりの尽力とお互いを支え合うチームワークのおかげであり、とても感謝しております。

これらのことを踏まえ、今年 2 月には基本理念の「お客様のため」・「社会貢献のため」の文言に「職員と家族のために」と付け加えました。それは、当協会の存在意義・目的、そして役職員が働く目的を、お客様と社会貢献のため、そして同じチームとして働く仲間とその家族のためであることを明確にいたしました。27 年度もその基本理念を役職員全員でしっかりと認識して予防医学事業を全力で推進していきたいと存じます。

以下、平成 26 年度展開しました事業を概括いたします。

＜基本理念＞

「すべては お客様のために 社会貢献のために 職員と家族のために」

行動指針

1. 思いやりの心
 - ・何事にも思いやりの心を持って取り組みます。
1. チャレンジ精神
 - ・創造力を持ち、失敗を恐れず挑戦し続けます。
1. 精度管理の徹底
 - ・「精度管理」を最優先とし、正確な健診、検査を実施いたします。
1. コンプライアンス（法令・規則の遵守）
 - ・関係法令、自主規準を必ず遵守します。
1. 継続的改善
 - ・高品質のサービスを提供するため、継続的な改善に努めます。

1. 人材育成

- ・自らの役割に責任を持ち、高度な専門性を身に付け、情熱的に行動する人材の育成を推進します。

1. 楽しくやりがいのある働きやすい職場づくり

- ・基本理念実現に向けて、楽しくやりがいのある働きやすい職場づくりはとても大切です。役職員一人ひとりが主体的に行動し、全員で力を合わせてより良い職場をつくれます。

<平成 26 年度スローガン>

「着眼大局 着手小局」

～一人ひとりが考え、勇気をもって行動し

明日のためのしっかりとした基盤を作ろう～

事業部門

1. 健康診断部門における公益活動の一環として、9月に乳がんのピンクリボンプロジェクト、10月にいしかわ大腸がんサポーターズプロジェクトに参画し、がん検診の受診率向上、早期発見のための啓発を行いました。
2. 環境検査部門では、公益活動の一環として、1月に食品等事業者、学校・保育所等給食関係者、老人福祉施設等を対象に開催された「ノロウイルス食中毒予防対策についての講習会」において、石川県食品衛生協会様、各地区食品衛生協会様に協力させていただき、石川県の公衆衛生の向上に寄与しました。
3. 健康診断部門では、積極的な渉外活動を展開し、前年度に引き続き定期健康診断の受診者数が増加しました。また、人間ドックについても5月に施設の改修工事を含めたリニューアルを行ったことにより、受診者数が増加しました。

管理部門

1. 予防医学事業の専門機関として、今まで以上にお客様に満足いただくことを目的に各種研修会に参加するなど、果敢に挑戦する人材の育成に取り組みました。
2. 健康診断部門では、X線装置のデジタル化推進計画として、4月に胃部検診車「ゆたか号」を導入し、精度の維持・向上に努めました。
3. 環境検査部門においては、リアルタイムPCR法による二枚貝のノロウイルス検査を確立・実施しました。

1 平成26年度事業実施概要

平成26年度各事業は表1のとおりとなっております。

職域保健について、総合健康診断は集計上の理由から定期健康診断に移行したことにより減少しましたが、実質的には定期健康診断とともに増加しました。また、がん検診の受診者数も全体的には増加しました。人間ドックについても、拡充計画に基づ

き着実に増加しました。

地域保健については、健康診査やがん検診の受診者数は減少しました。

学校保健では、受診者数は増加しました。

医学検査については、他の健診機関からの検査受託を継続しました。

環境検査については、対前年度比の検査件数では全体的に増加しました。

表1 健診・検査実施状況

(その1)

△印は減少

No.	健診・検査等の種類	平成26年度 受診者数・件数	平成25年度 受診者数・件数	増 減
1	① 健康診断部門／職域保健			
2	総合健康診断	27,745	30,652	△ 2,907
3	定期健康診断	96,253	95,455	798
4	全項目	54,701	51,553	3,148
5	省略項目	150,954	147,008	3,946
6	小計	34,675	32,906	1,769
7	胃がん検診	40,570	37,946	2,624
8	大腸がん検診	9,546	8,983	563
9	乳がん検診	7,471	7,647	△ 176
10	子宮がん検診	24,175	23,592	583
11	生活習慣病検査	34,631	31,346	3,285
12	感染症検査・予防接種	15,900	13,595	2,305
13	精密検査	8,191	7,327	864
14	特殊健康診断	2,484	2,458	26
15	有機溶剤	4,310	2,971	1,339
16	じん肺	1,849	1,702	147
17	特定化学物質	5,745	5,191	554
18	VDT	22,579	19,649	2,930
19	その他	7,009	6,478	531
20	小計	3,035	3,318	△ 283
21	人間ドック	117,390	125,573	△ 8,183
	健康支援			
	腸内細菌検査			

(その2)

△印は減少

No	健診・検査等の種類	平成26年度 受診者数・件数	平成25年度 受診者数・件数	増 減	
22	② 健康診断部門／地域保健				
23	健康診査	18,921	19,418	△ 497	
24	肺がん・結核検診	X線検査	28,134	28,290	△ 156
25		C T検査	338	336	2
26		小計	28,472	28,626	△ 154
27	胃がん検診	9,762	9,912	△ 150	
28	大腸がん検診	17,417	16,963	454	
29	乳がん検診	3,113	3,206	△ 93	
30	子宮がん検診	2,499	2,554	△ 55	
31	前立腺がん検査	4,924	4,655	269	
32	骨密度測定	2,323	2,100	223	
33	③ 健康診断部門／学校保健				
34	尿検査	157,349	145,864	11,485	
35	寄生虫検査	回虫・鉤虫等	12,978	17,648	△ 4,670
36		ぎょう虫	108,713	98,475	10,238
37		小計	121,691	116,123	5,568
38	学校心電図検査	13,124	12,791	333	
39	学校健康診断	22,449	21,691	758	
40	感染症検査・予防接種	11,346	10,794	552	
41	④ クリニック部門				
42	保険診療	件数	7,355	7,024	331
43		点数	9,720,771	9,673,529	47,242
44	⑤ 臨床検査部門				
45	臨床検査	11,758	1,058,187	△ 1,046,429	
46	先天性代謝異常症等検査	1	10,201	△ 10,200	
47	⑥ 環境検査部門				
48	食品検査	15,473	12,911	2,562	
49	水質検査	4,325	4,119	206	
50	簡易専用水道検査	897	919	△ 22	
51	作業環境測定	1,660	1,361	299	
52	計量証明事業	2,837	3,196	△ 359	

2 職域保健

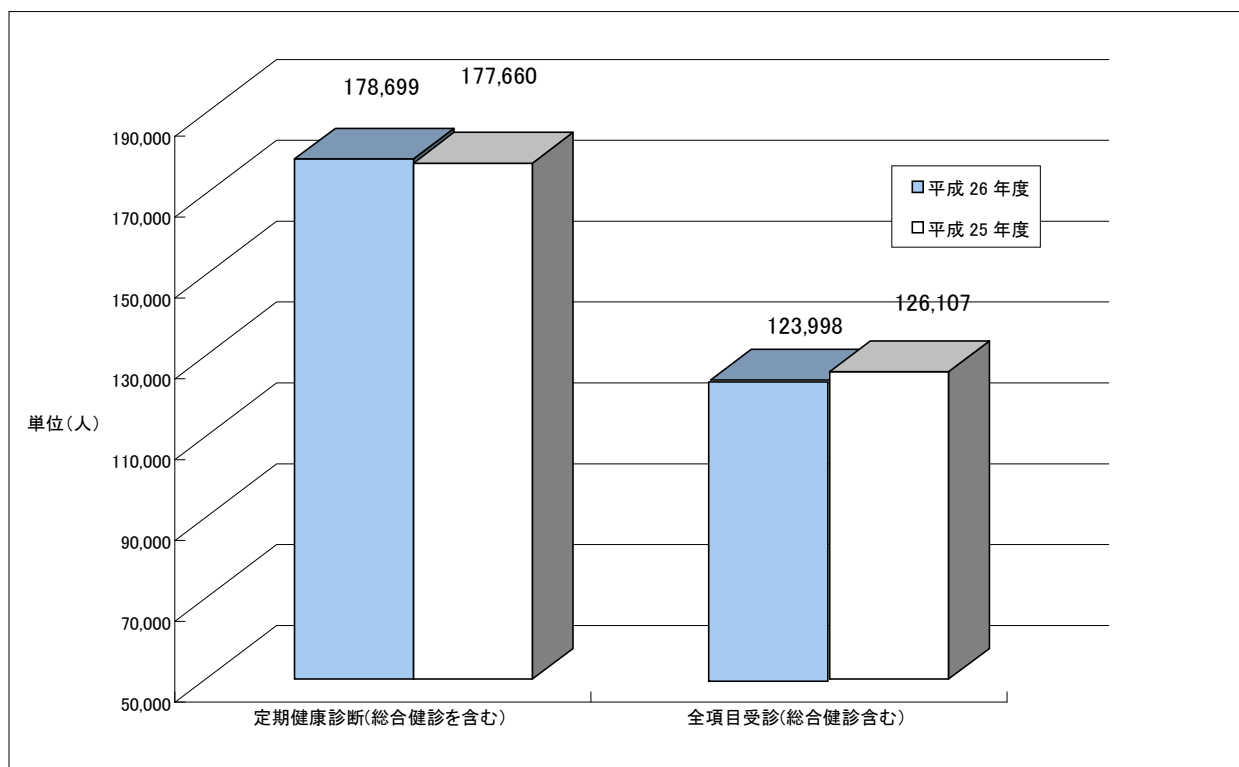
平成26年度は、定期健康診断や特定健診にがん検診等を組み合わせた総合健康診断の提案をより強化した渉外活動を展開し、健康診断及びがん検診の受診者は増加しました。

具体的には、全国健康保険協会の生活習慣病予防

健診を中心とした総合健康診断の受診者数は増加しました。

人間ドックについては、施設の改修工事を含めたリニューアルによる拡充計画に基づき、着実に受診者数が増加しました。また、内視鏡やCTなど高精度検査の受診率も引き続き増加しました。

図1 定期健康診断実施状況



(1) 総合健康診断、定期健康診断

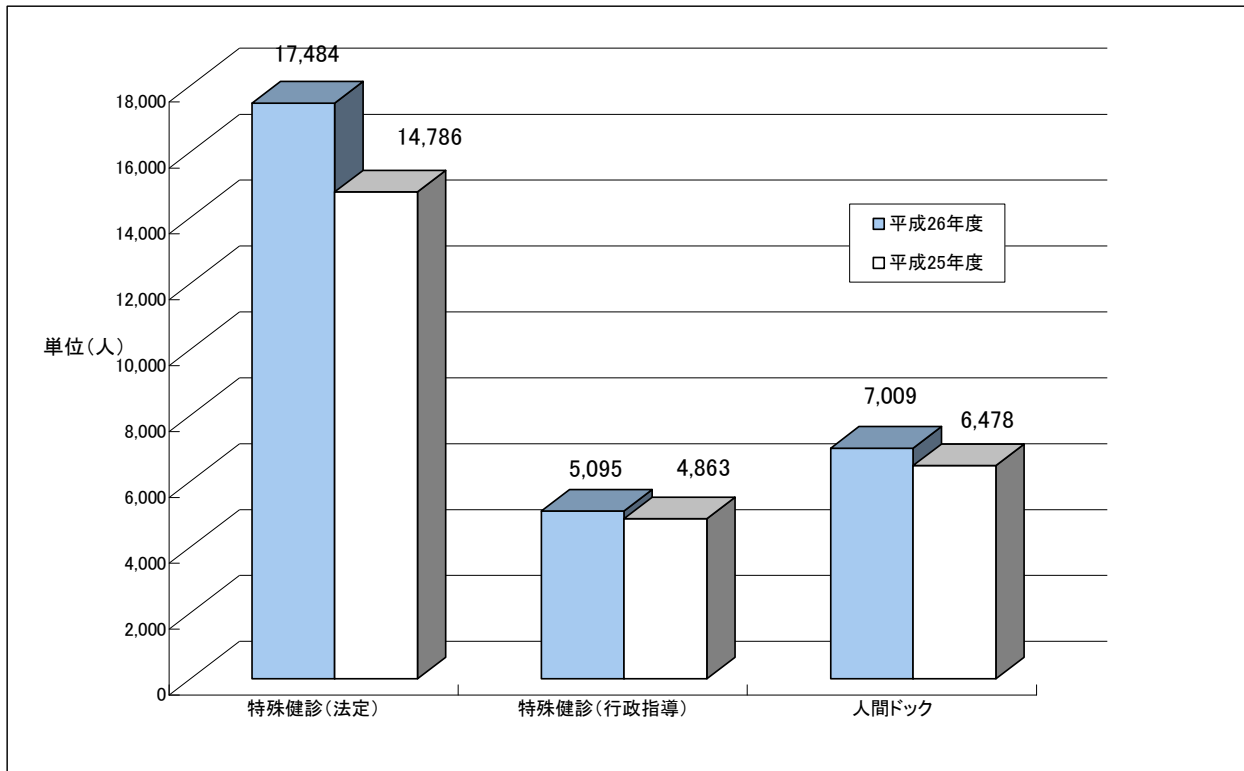
実施状況は、図1のとおりです。総合健康診断、定期健康診断を合わせた健康診断の受診者数の合計は、1,039人増の178,699人、心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は2,109人減の123,998人でした。

法定の定期健康診断にがん検診等を加えて実施している総合健康診断は、健康保険組合・共済組合等の助成も多いため、助成制度を有効に利用いただけるよう出張、外来健診の両方で利用促進に努めま

した。

労働安全衛生規則第44条に基づく定期健康診断は脳血管疾患、心臓疾患、糖尿病、腎臓病、高血圧症、貧血等の早期発見やリスクの評価には有効な検査内容であり、健康管理の基本的健康診断として広く利用いただいております。定期健康診断は3,946人増の150,954人でした。定期健康診断における心電図検査・血液検査を含む全項目受診者数は798人増の96,253名でした。

図2 特殊健康診断等実施状況



(2) がん検診

がん検診については全体的に受診者数が増加し、胃がん検診は1,769人増の34,675人、大腸がん検診が2,624人増の40,570人でした。女性がん検診は、子宮がん検診は176人減の7,471人でしたが、乳がん検診は563人増の9,546人でした。

(3) 特殊健康診断

実施状況は、図2のとおりです。全体では2,930人増の22,579人が受診され、法改正により、有機溶剤は864名増の8,191人、じん肺健診は2,484人、特定化学物質等の法定特殊健診は4,310人、VDT健診等の行政指導特殊健診は1,849人でした。

(4) 人間ドック

人間ドックについては、平成26年4月下旬から5月上旬に施設の改修工事を行い、全体的にリニューアルしたことにより、531人増の7,009人でした。検査内容では、全受診者における胃内視鏡の受診率は、前年度とほぼ同じ90.8%、肺マルチスライスCT受診率は47.4%となっており、高精度検査の利用が増加しています。

(5) 健康支援

健康支援として実施した保健指導の総数は、283人減の3,035名でした。特定保健指導は、積極的支援が前年度比17人増の517人、動機付け支援が22人減の373人でした。

3 地域保健

市町との連携をより強化し、受診案内等の事前周知及び包括健診の実施を提案したことにより、受診率の向上に取り組みましたが、平成26年度は全体的に受診者数は減少しました。

受診会場においては、各市町の要望を盛り込み、特定健康診査対象外年齢の方の基本健康診査、集合契約での被扶養者の特定健康診査、各がん検診を同時に受診できる環境作り及び円滑な受診体制への提案を積極的に行いました。実施状況は、表2のとおりです。

(1) 健康診査

定期日程終了後に市町と調整し追加日程の設定等に取り組みましたが、健康診査の総受診者数は497人減の18,921人でした。特定健康診査は105人減の15,147人、基本健康診査は392人減の3,774人でした。

(2) がん検診

肺がん・結核検診は154人減の28,472人、胃がん検診は150人減の9,762人、子宮がん検診は55人減の2,499人、乳がん検診は93人減の3,113人でしたが、大腸がん検診は454人増の17,417人、前立腺がん検診は269人増の4,924人、骨密度測定は223人増の2,323人でした。

表2 地域保健市町別実施状況

市 町	基 本				胸 部 X 線		喀痰	胃部	大腸	乳房	子宮	前立腺	マルチ C T	骨密度
	若年	特定	後期 高齢	その他	39歳以 下	40歳以上								
金 沢 市		540				495		546	434	245		109		125
小 松 市	116	650	14	2		9,714	151	3,490	7,683			192		
七 尾 市	109	2,676	419	10								1,493		
能 美 市	557	2,252				4,297	110	2,401	3,883			1,034	285	240
川 北 町	88	249				509	9	226	262	258	176	248	53	365
野々市市						1,528	26							
白 山 市	258	2,430	289	2								582		
内 灘 町	346	1,309		9		1,567	40	936	1,257	1,209	997	407		882
津 幡 町	322	999	181	3		1,555	18	1,111	1,302	557	548	69		62
志 賀 町	6	1,437	422	1		2,457	106					58		
中能登町	26	1,235	274	5		2,022	27		1,215			311		187
穴 水 町								9						
輪 島 市					18	2,155	28							
かほく市	311	1,370		4		1,835	12	1,043	1,381	844	778	421		222
合 計	2,139	15,147	1,599	36	18	28,134	527	9,762	17,417	3,113	2,499	4,924	338	2,083

4 学校保健

児童・生徒の健康管理については、心臓検診（心電図・心音図心電図検査）、腎臓病・糖尿病検診（尿検査）、貧血検査、ぎょう虫・寄生虫検査を集団検査として実施しております。これらの検診・検査は、小児期における心臓病・腎臓病・糖尿病・貧血症・感染症等の早期発見や生活指導における情報として活用していただいております。

今年度も引き続き更なる精度管理の徹底、正確・迅速な結果報告に取り組みました。また、より効果的な検診・検査体制の構築に努め、学校保健部会では、県教育委員会・学校保健部会の先生方からの助言をいただき、精密検査未受診者への案内を強化し、精密検査の受診率向上に努めました。

(1) 尿検査

尿検査は、小児期における腎疾患と若年性糖尿病の早期発見を目的としています。実施状況は、表3、4のとおりです。一次検査の陽性率は、腎臓病検診では3.12%、糖尿病検診では0.07%でした。二次検査の受検率は、腎臓病検診で94.0%、糖尿病検診で80.7%でした。

(2) 心臓検診

学校や家庭での心臓病による突然死を防ぐことを目的に、基本的に小中学校1年生には、心音図心電図検査、高等学校1年生には、心電図検査を専門医に指導いただき実施しております。実施状況は、表5のとおりです。

表3 尿検査（腎臓病検診）実施状況

（1次検査）

学校区分	受 検 者 数			陽 性 者 数			陽 性 率		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未 就 学	21,262	10,970	10,292	405	149	256	1.90	1.36	2.49
小 学 校	63,827	32,603	31,224	1,189	349	840	1.86	1.07	2.69
中 学 校	33,744	17,335	16,409	1,651	690	961	4.89	3.98	5.86
高等学校	29,390	14,915	14,475	1,347	597	750	4.58	4.00	5.18
受託検査	6,375			187			2.93		
そ の 他	2,726	1,867	859	126	66	60	4.62	3.54	6.98
合 計	157,324	77,690	73,259	4,905	1,851	2,867	3.12	2.38	3.91

（2次検査）

学校区分	受 検 者 数			陽 性 者 数			陽 性 率		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未 就 学	369	138	231	85	28	57	23.04	20.29	24.68
小 学 校	1,146	333	813	235	54	181	20.51	16.22	22.26
中 学 校	1,568	667	901	333	102	231	21.24	15.29	25.64
高等学校	1,260	572	688	186	63	123	14.76	11.01	17.88
そ の 他	95	56	39	27	13	14	28.42	23.21	35.90
合 計	4,438	1,766	2,672	866	260	606	19.51	14.72	22.68

(3) 貧血検査

食生活のアンバランスが原因となる鉄欠乏性貧血やその予備群の早期発見と正しい食生活指導のために、耳朶採血法・静脈採血法で貧血検査を実施しております。重要な検査である貧血検査については、学校保健安全法に定められていないこと及び検査が侵襲的方法であるため実施学校数が少ない現状です。

(4) 寄生虫検査

衛生環境の向上により日本では、回虫・鉤虫等の寄生虫感染症は激減しました。当協会においても、県内の大部分で検査を実施している状況において、ここ数年これらは検出されていません。ぎょう虫検査における未就学児童・小学生のぎょう虫保卵率は0.14%でした。実施状況は表6のとおりです。

表4 尿検査（糖尿病検診）実施状況

（1次検査）

学校区分	受 検 者 数			陽 性 者 数			陽 性 率		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未 就 学	21,262	10,970	10,292	7	3	4	0.03	0.03	0.04
小 学 校	63,827	32,603	31,224	18	13	5	0.03	0.04	0.02
中 学 校	33,744	17,335	16,409	29	12	17	0.09	0.07	0.10
高 等 学 校	29,390	14,915	14,475	43	24	19	0.15	0.16	0.13
そ の 他	2,726	1,867	859	7	5	2	0.26	0.27	0.23
合 計	150,949	77,690	73,259	104	57	47	0.07	0.07	0.06

（2次検査）

学校区分	受 検 者 数			陽 性 者 数			陽 性 率		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女
未 就 学	5	1	4	1	1	0	20.00	100.00	0.00
小 学 校	15	12	3	5	4	1	33.33	33.33	33.33
中 学 校	22	9	13	12	3	9	54.55	33.33	69.23
高 等 学 校	38	22	16	11	8	3	28.95	36.36	18.75
そ の 他	4	2	2	2	1	1	50.00	50.00	50.00
合 計	84	46	38	31	17	14	36.90	36.96	36.84

表5 学校心臓検診実施状況

学校区分	心音心電図 受検者数	心電図検査 受検者数	合計	精検検査 対象者数	要精検率	要管理者数	要管理者 割合
小学校 全体	1,020		1,020	20	1.96	8	0.78
1年生	821		821	14	1.71	7	0.85
4年生	195		195	5	2.56	1	0.51
その他	4		4	1	25.00	0	0.00
中学校 全体	881	225	1,106	45	4.07	11	0.99
1年生	880	222	1,102	44	3.99	11	1.00
その他	1	3	4	1	25.00	0	0.00
高等学校 全体		10,664	10,664	258	2.42	83	0.78
1年生		10,319	10,319	213	2.06	80	0.78
その他		345	345	45	13.04	3	0.87
その他の学校		334	334	11	3.29	29	8.68
合計	1,901	11,223	13,124	334	2.54	131	1.00

表6 寄生虫検査実施状況

学校区分	ぎょう虫検査(全体)			2日法			4日法		
	受検者数	保卵者数	保卵率	受検者数	保卵者数	保卵率	受検者数	保卵者数	保卵率
未就学	56,230	39	0.07	21,467	9	0.04	34,763	30	0.09
小学校	37,902	100	0.26	27,369	93	0.34	10,533	7	0.07
中学校	111	0	0.00	111	0	0.00	0	0	0.00
高等学校	0	0	0.00	0	0	0.00	0	0	0.00
その他	1,502	5	0.33	1,502	5	0.33	0	0	0.00
受託検査	12,968	12	0.09	12,830	12	0.09	138	0	0.00
合計	108,713	156	0.14	63,279	119	0.19	45,434	37	0.08
後検査合計	153	28	18.30	114	21	18.42	39	7	17.95

学校区分	寄生虫検査(全体)		
	受検者数	保卵者数	保卵率
未就学	574	0	0.00
小学校	12,347	0	0.00
養護学校	57	0	0.00
合計	12,978	0	0.00

5 医学検査

平成26年度から石川県内の医療機関から受託しておりました臨床検査事業を終了し、健診、ドック、クリニックの検体検査において、精度の維持向上を基本としお客様が満足できるサービスの提供に貢献できる検査体制の構築に取り組んでまいりました。今年度、臨床検査部では、便のノロウイルスのRT-PCR法とリアルタイムPCR法検査を確立しました。RT-PCR法については、試薬の検討によりコストダウンも達成しました。また、尿検査システムの自動化の構築に取り組みました。今年度、臨床検査

部で実施した検査は、表7に示したように、合計で2,865,657件でした。一般臨床検査（学校検尿・ぎょう虫検査）と微生物学的検査（腸内細菌検査）は減少しましたが、臨床化学的検査・血清学的検査・血液学的検査は増加しました。また、他健診機関からの受託検査は、870件増の11,758件でした。外部委託検査件数は、2,197件増の19,795件でした。主な要因は、尿代謝物検査の増加です。40年以上にわたり石川県から受託していました先天性代謝異常症等検査は、入札の結果により誠に残念ですが、終了することとなりました。

表7 検査実施状況

△印は減少

検査別	26年度	25年度	対前年度比増減件数
	件数	件数	
一般臨床検査	344,322	382,410	△ 38,088
血液学的検査	303,566	294,492	9,074
微生物学的検査	212,050	227,012	△ 14,962
血清学的検査	85,071	80,053	5,018
臨床化学的検査	1,896,847	1,856,805	40,042
病理学的検査	13,714	12,940	774
その他の検査	10,087	8,361	1,726
合計	2,865,657	2,862,073	3,584

腸内細菌検査の実施件数を表 8 に示しました。昨年度に比べ 14,956 件減の 211,818 件を実施しました。ノロウイルス検査は、46 件増の 224 件を実施しました。

一般臨床検査のうち、26 年度の寄生虫検査では、

ぎょう虫卵検査 69,473 件、寄生虫卵検査 12,778 件を実施しました。また、大腸がん検診に関連した便潜血反応検査は、3,758 件増の 124,181 件を実施しました。

表 8 検便(腸内細菌検査・ノロウイルス検査)実施状況

△印は減少

検査名	26 年度	25 年度	対前年度比増減件数
S S	111,540	119,078	△ 7,538
E H E C	99,838	107,230	△ 7,392
O 157	440	466	△ 26
合計	211,818	226,774	△ 14,956
ノロウイルスーRT-PCR 法	197	178	19
ノロウイルスーリアルタイム PCR 法	27		27
合計	224	178	46

6 環境検査

環境検査部門では、精度の維持向上、検査と事務の効率化、お客様に有用な検査の立ち上げ等を進めました。精度の維持向上の具体的な取り組みとして、水道水質基準項目（51 項目）について妥当性評価の確認を完了しました。効率化の取り組みとして、平成 26 年 4 月から新業務システムの運用を本格的に開始しました。工程の削減、お客様データの蓄積、健康診断部門とのお客様情報の共有化等を目的に検査体制の効率化に取り組みまし

た。運用初年度のためお客様情報の入力等の負荷は掛かりましたが、次年度からは前回データを活用した効率化が期待できます。公益活動の一環として、1 月に食品等事業者、学校・保育所等給食関係者、老人福祉施設等を対象に開催された「ノロウイルス食中毒予防対策についての講習会」につきまして、石川県食品衛生協会様、各地区食品衛生協会様に協力させていただき、石川県の公衆衛生の向上に寄与しました。

今年度の環境検査事業実施状況につきましては、表 9 のとおりです。

表9 環境検査事業実施状況

△印は減少

検査内訳	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比 増減件数
食 品 検 査	15,473	12,911	2,562
飲 用 水 質 検 査	4,325	4,119	206
簡 易 専 用 水 道	897	919	△ 22
作 業 環 境 測 定	1,660	1,361	299
計 量 証 明 事 業	2,837	3,196	△ 359
合 計	25,192	22,506	2,686

(1) 食品検査

全体の検査件数は2,562件増の15,473件でした。細菌検査、理化学検査とともに増加することができました。リアルタイム PCR 法による二枚貝のノロウイルス検査を確立・実施しました。検査体制では、標準作業書（SOP）の改訂、信頼性確保部門

が計画する外部精度管理の参加及び結果の検証、食品衛生登録検査機関協会主催の研修会への参加及び信頼性確保部門による内部点検等により、精度管理の徹底に取り組みました。食品検査実施状況は表10のとおりです。

表10 食品検査（項目別）実施状況

△印は減少

項目分類	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比 増減件数
細 菌 検 査	12,130	9,925	2,205
一 般 理 化 学 検 査	867	638	229
添 加 物 検 査	3	48	△ 45
有 害 物 質 検 査	677	439	238
規 格 検 査	418	453	△ 35
異 物 検 査	431	297	134
輸 入 食 品 検 査	42	28	14
放 射 性 物 質 検 査	711	716	△ 5
そ の 他 検 査	194	367	△ 173
合 計	15,473	12,911	2,562

(2) 水質検査

全体の検査件数は 206 件増の 4,325 件でした。水道事業体の給水系統の変更、契約事業体減により減少しましたが、ビル管事業者からの依頼が増加し、微増となりました。検査体制では、精度の維持及び向上のため水道水質基準項目について妥

当性評価の確認を完了しました。妥当性の評価は、今後継続して実施していきます。厚生労働省主催の外部精度管理調査、全国給水衛生検査協会主催の外部精度管理調査への参加及び研修会への参加により精度向上、情報の収集に努めました。水質検査実施状況は表 11 のとおりです。

表11 水質検査実施状況

△印は減少

種別	市 町 名	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比 増減件数
水 道 水	白 山 市	786	810	△ 24
	加 賀 市	162	169	△ 7
	宝達志水町	106	105	1
	七 尾 市	449	462	△ 13
	中能登町	0	137	△ 137
	穴 水 町	63	65	△ 2
	小 計	1,566	1,748	△ 182
その他の水道水		2,284	2,000	284
井 戸 水	一 般 飲 料 水	146	61	85
	食 品 営 業 用 水	329	310	19
合 計		4,325	4,119	206

(3) 簡易専用水道検査

全体の検査件数は 23 件減の 896 件（現場検査：746 件、書類検査：150 件）でした。新規顧客、従来顧客の新規物件により 15 件の増加がありましたが、老朽化施設の廃止・改築などによる検査の見合わせ、県外機関の参入での検査の移行により 38 件の減少がありました。

厚生労働省主催の外部精度管理調査では最上位の“S”ランクをいただきました。精度管理について、全国給水衛生検査協会主催の研修会への積極

的参加、信頼性確保部門による内部監査の継続実施により精度の向上に努めました。

(4) 作業環境測定

検査件数については、延事業場数及び延作業場数が増加し、作業場数では前年比 299 件増加しました。監督官庁の行政指導がこれまで以上に強化されたこと及び平成 26 年 1 月の法改正に加えて 11 月に特別有機溶剤として 10 物質が追加されたことにより、特定化学物質の測定件数も大幅に増加し

ました。検査体制では、個々の力量向上のため、作業環境測定士ブラッシュアップ講習を受講、また、新たに取り上げられている 640 物質のリスクアセスメントに係る講習会にも積極的に参加しました。信頼性確保部門による内部監査も行い、精度管理の徹底に取り組みました。作業環境測定の実施状況は表 12 のとおりです。

表12 労働安全衛生法第65条に基づく定期作業環境測定実施状況

測定対象事業場		事業所数	延作業場数	延単位作業場の管理区分		
				第一管理区分	第二管理区分	第三管理区分
鉱物性粉じん	石綿	0	0	0	0	0
	石綿以外	54	238	169	22	47
特定化学物質		111	390	336	34	20
金属類	鉛	2	2	2	0	0
	鉛以外	14	67	65	0	2
有機溶剤		148	553	407	94	52

(5) 計量証明事業

全体の検査件数は 359 件減の 2,873 件でした。部門別にみると、大気測定は、対象施設の廃止等により 11 件減少しました。水質検査については、126 件減少しました。精度管理については、標準作

業書 (SOP) の改訂、日環協による COD 外部精度管理に参加しました。また、検査報告書については、新システムによる下限値の設定等を行い、精度管理と併せて業務の効率化に取り組みました。計量証明事業の実施状況は表 13 のとおりです。

表13 計量証明事業実施状況

△印は減少

検査分類	平成 26 年度	平成 25 年度	対前年度比 増減件数
大気測定	120	131	△ 11
水質検査	1,274	1,400	△ 126
土壌検査	3	4	△ 1
その他(計量対象外)	1,440	1,661	△ 221
合計	2,837	3,196	△ 359

7 総務事項

(1) 理事会開催状況

平成 26 年 6 月 期定例理事会

平成 26 年 6 月 11 日(水)

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告(案)について

第 2 号議案 平成 25 年度決算(案)について

第 3 号議案 平成 25 年度公益目的支出計画実施報告(案)について

第 1～3 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

平成 27 年 3 月 期定例理事会

平成 27 年 3 月 10 日(火)

第 1 号議案 平成 27 年度事業計画(案)について

第 2 号議案 平成 27 年度収支予算(案)について

第 1～2 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

(2) 評議員会開催状況

平成 26 年 6 月 期定例評議員会

平成 26 年 6 月 30 日(月)

第 1 号議案 平成 25 年度事業報告(案)について

第 2 号議案 平成 25 年度決算(案)について

第 3 号議案 平成 25 年度公益目的支出計画実施報告(案)について

第 1～3 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

平成 27 年 3 月 期定例評議員会

平成 27 年 3 月 24 日(火)

第 1 号議案 平成 27 年度事業計画(案)について

第 2 号議案 平成 27 年度収支予算(案)について

第 1～2 号議案について審議の結果、全会一致で承認されました。

8 啓発活動報告

公益活動の一環として、乳がん「かなざわピンクリボンプロジェクト」、大腸がん「いしかわ大腸がんサポーターズ」に参画し、がん早期発見のための啓発活動を行いました。

◇かなざわピンクリボンプロジェクト

開催日：平成 26 年 9 月 28 日(日)

会 場：しいのき迎賓館

内 容：マンモグラフィによる乳がん無料検診
撮影 47 名

活動では乳がん無料検診の他、メッセージウォーク、乳がんの情報を紹介するパネル展示や模型による乳房のしこりを体験する等のイベントに参画し、乳がん検診の啓発に協力しました。

◇いしかわ大腸がんサポーターズ

開催日：平成 26 年 10 月 5 日(日)

会 場：北國新聞赤羽ホール

内 容：大腸がん無料検査 39 名

活動では、市民公開講座やトークショーが開催された他、大腸がんの検査方法等を紹介するパネル展示や便潜血無料検査に参画し、大腸がん検診の啓発に協力しました。

9 学会発表状況

第 61 回 日本栄養改善学会学術総会

日 時：平成 26 年 8 月 20 日(水)～22 日(金)

会 場：横浜市

内 容：特定保健指導における記録の目標達成率と健診結果の改善状況についての検討

発表者：管理栄養士 馬場 菜穂子

第 55 回 日本人間ドック学会学術大会
 日 時：平成 26 年 9 月 4 日(木)～5 日(金)
 会 場：福岡市
 内 容：過去 3 年間の特定保健指導の効果につ
 いて
 発表者：保健師 木村 亜耶

第 24 回 日本産業衛生学会 産業医・産業看護全
 国協議会
 日 時：平成 26 年 9 月 24 日(水)～27 日(土)
 会 場：金沢市
 内 容：職域での特定保健指導の効果に影響を
 及ぼす要因について
 発表者：管理栄養士 山崎 千晶

第 43 回 日本総合健診医学会
 日 時：平成 27 年 2 月 20 日(金)～21 日(土)
 会 場：富山市
 内 容：特定保健指導の効果に影響を及ぼす要
 因について
 発表者：保健師 杉谷 絵里

第 49 回 予防医学技術研究会議
 日 時：平成 27 年 2 月 25 日(水)～27 日(金)
 会 場：那覇市
 内 容：精度管理と顧客満足度の向上 保健指
 導業務の立場から
 発表者：保健師 野田 潤子
 内 容：3 か月集中型の積極的支援プログラムの
 試みについて
 発表者：管理栄養士 森川 美智子
 内 容：職域胸部 X 線検査の精検受診率向上に
 向けての取り組み
 発表者：診療放射線技師 池田 一浩
 内 容：天性心疾患児の心音図について
 発表者：臨床検査技師 岩田 みどり
 内 容：眼底検査の意義についての再考
 発表者：臨床検査技師 向 美咲

内 容：QT 補正式の比較について
 発表者：臨床検査技師 大下 麻友

10 会議・研修実施状況

◇ 各種学会関係

2014 国際医用画像総合展
 4 月 11 日～13 日 横浜市
 第 111 回日本内科学会総会・講演会
 4 月 11 日～13 日 東京
 第 54 回日本呼吸器学会学術講演会
 4 月 27 日 大阪市
 第 38 回日本消化器内視鏡学会セミナー
 5 月 17 日～18 日 福岡市
 第 87 回日本産業衛生学会
 5 月 21 日～24 日 岡山市
 第 79、80 回デジタルマンモグラフィソフトコピ-診断講習会
 5 月 24 日～25 日 東京
 第 84 回日本衛生学会学術総会
 5 月 25 日～27 日 岡山市
 第 17 回保健指導力プラスセミナー
 5 月 25 日 大阪市
 第 55 回日本臨床細胞学会総会（春期大会）
 6 月 5 日～7 日 横浜市
 第 53 回日本消化器がん検診学会総会
 6 月 6 日～7 日 福井市
 第 37 回人間ドック健診認定医・専門医研修会
 6 月 7 日 神戸市
 第 118 回日本消化器病学会北陸支部例会
 6 月 15 日 福井市
 平成 26 年度日本人間ドック学会定時社員総会
 6 月 19 日 東京
 平成 26 年度先天性代謝異常症等検査技術者研
 修会
 7 月 3 日～4 日 東京
 第 22 回日本乳癌学会学術総会
 7 月 10 日～12 日 大阪市

国際マンガノホスピタルの視察	7月17日	東京	第24回日本乳癌検診学会学術総会	11月7日～8日	前橋市
日本CT検診学会夏期セミナー-2014	7月26日	東京	第53回日本臨床細胞学会秋期大会	11月7日～9日	下関市
第61回日本栄養改善学会学術総会	8月20日～22日	横浜市	第55回日本肺癌学会学術集会 第29回肺癌 集検セミナー	11月16日	京都市
第41回日本マス・スクリーニング学会学術集会及び技術委員会	8月21日～23日	広島市	第44回日本消化器がん検診学会東海北陸地方 会	11月22日	名古屋市
第32回全国情報統計研修会	8月28日～29日	千葉市	第61回日本臨床検査医学会学術集会	11月22日～23日	福岡市
第55回日本人間ドック学会学術大会	9月4日～5日	福岡市	超音波スクリーニング研修講演会2014有明	12月13日	東京
第38回人間ドック健診認定医・専門医研修会	9月6日	福岡市	日本産業衛生学会中小企業安全衛生研究会 第48回全国集会	12月13日	名古屋市
日本農薬学会・残留農薬分析セミナー	9月12日	奈良市	第5回乳房超音波技術講習会	2月7日～8日	東京
第11回日本乳癌学会中部地方会	9月13日	岐阜市	第22回日本CT検診学会学術集会	2月13日～14日	大阪市
第83回デジタルマンモグラフィソフトコピー診断講習会	9月20日	名古屋市	日本産業衛生学会産業医部会第19回産業医プロ フェッショナルコース	2月14日～15日	横浜市
食品成分分析見学会	9月26日	大阪市	水質分析セミナー	2月20日	金沢市
新生児マス・スクリーニング基礎研修会	10月3日～4日	東京	肺癌CT検診認定技師更新講習会	2月20日	東京
日本消化器がん検診学会東海北陸支部放射 線研修委員会初心者コース2（読影基礎編）	10月11日	富山市	日本総合健診医学会第43回大会	2月20日～21日	富山市
第57回日本産業衛生学会北陸甲信越地方会理 事会及び総会	10月19日	富山市	第6回肺癌CT検診認定技師更新講習会	2月28日	東京
安全運転管理過程4日研修	10月21日～24日	ひたちなか市	日本マス・スクリーニング学会・技術部会第33回研修会	3月6日～7日	札幌市
「先天性代謝異常検査」実施支部の意見交換会	10月24日	東京	食品中の有害化学物質及び有害微生物の実態 調査委託事業に関する説明会	3月17日	東京
第48回日本臨床検査医学会・第24回日本臨床 化学会北海道支部総会	10月25日	札幌市	第85回日本衛生学会学術総会	3月27日～28日	和歌山市
第73回日本公衆衛生学会総会	11月6日～7日	宇都宮市			

◇ 予防医学事業中央会関係

第1回保健指導委員会	5月23日	東京
第1回全国運営会議	5月29日	東京
ストレス検査データ処理共同システム説明会	7月18日	東京
第59回予防医学事業推進全国大会	10月16日～17日	水戸市
ストレス検査データ処理システム共同開発説明会	11月13日	東京
予防医学事業推進近畿・東海・北陸地区会議	12月11日～12日	神戸市
保健指導研修会	12月18日～19日	東京
医師協議会	1月30日～31日	盛岡市
全国業務研修会	2月12日～13日	鹿児島市
第49回予防医学技術研究会議	2月25日～27日	那覇市

◇ 全国労働衛生団体連合会関係

平成26年度通常総会	6月23日	東京
選別聴力検査研修会Ⅱ	8月27日	大阪市
労働衛生サービス機能評価施設認定実務責任者研修会	9月9日	東京
腹部超音波検査研修会	9月13日	東京
メンタルヘルスサービス提供機関連絡会議	11月12日	東京
平成26年度運営研究協議会	11月19日	東京
メンタルヘルス面接指導研修会Ⅰ・Ⅱ	1月20日～21日	東京

メンタルヘルス事後指導研修会Ⅰ・Ⅱ

生理機能検査研修会	1月26日～27日	東京
中部地方協議会定例会議	2月5日～6日	東京
特殊健康診断研修会	2月13日	桑名市
東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究リサーチコーディネーター担当者会議	2月16日	東京
	3月14日～15日	東京

◇ 日本作業環境測定協会関係

空気環境測定実施者再講習会	5月8日～9日	東京
作業環境測定士登録講習（第一種選択科目特化物）	6月16日～18日	大阪市
北・信越支部通常総会	6月19日	長野市
計量管理講習会	12月5日	東京
作業環境測定士ブラッシュアップ講習	12月25日	東京

◇ 全国給水衛生検査協会関係

東海北陸支部総会及び研究会	5月29日～30日	名古屋市
東海北陸支部34条技術委員会（第1回）	8月22日	名古屋市
飲料水検査技術研修会及びJASIS2014新技術説明会	9月3日～4日	千葉市
簡易専用水道検査外部精度管理調査	11月7日	名古屋市
東海北陸支部初心者技術研修会	11月28日	名古屋市
飲料水検査精度管理調査に関する研修会	3月12日	東京
水道水質検査精度管理に関する研修会	3月19日	東京

◇ 食品衛生登録検査機関協会関係

食品製造の現場における異物混入防止対策講習会（基礎編）

4月15日 東京

理化学試験の基礎実技研修

5月28日 東京

初心者研修会（微生物編）

6月6日 東京

業務管理研修会

6月27日 名古屋市

精度管理研修会

7月4日 東京

微生物研修会

11月27日～28日 東京

業務管理研修会

2月9日 東京

大腸がん部会

7月7日

金沢市

胃がん部会

7月23日

金沢市

乳がん部会

8月29日

金沢市

胃がん部会

12月3日

金沢市

大腸がん部会

12月8日

金沢市

肺がん・結核部会

12月10日

金沢市

子宮がん部会

1月29日

金沢市

乳がん部会

1月30日

金沢市

学校保健部会

3月10日

金沢市

◇ 中央労働災害防止協会関係

第2回日常生活で出来る運動の工夫

7月11日～12日 東京

◇ 労働基準協会関係

小松労働基準協会健康診断団体会議

5月13日 小松市

奥能登地区労働基準協会健康診断事務連絡会

7月16日 能登町

産業安全衛生石川大会

10月8日 金沢市

第73回全国産業安全衛生大会

10月23日～24日 広島市

七尾労働基準協会健康診断実施連絡会議

2月24日 七尾市

◇ 石川県予防医学協会集検事業管理指導委員会関係

肺がん・結核部会

6月18日 金沢市

